

# 令和2年度 第13回 白山市小中学生感性のびのび俳句大会

## 小学校の部特選

12句

ブランコのぼくもおちばもゆれている

石川小学校 1年 中川 鳳真

木のしたでおちばとおちばがかさなった

松陽小学校 1年 余野木 優星

夕がたの空にむらがるあきあかね

広陽小学校 2年 谷 壮真

校ていにでつかいとちのみ大はっ見

白嶺小学校 2年 丹保 翔喜

へやじゅうにかおりひろがるくりごはん

東明小学校 3年 藤井 一嘉

秋の空どんどん進む雲のむれ

旭丘小学校 3年 鳥谷 希

かきの木が今日はにぎやか鳥たちで

蕪城小学校 4年 小玉 絢音

風がきえすすきの音がきえていく

石川小学校 4年 西 嘉音

レンガ道はねてはきえる初あられ

千代野小学校 5年 島崎 祐成

夜の雪音もたてずに景色変え

鳥越小学校 5年 米澤 凜音

えんがわで私と母と秋風と

東明小学校 6年 澤井 侑愛羽

秋晴れの日差しの中で水光る

千代野小学校 6年 鳥井 瑛太

## 中学校の部特選 6句

帰り道金木犀と風にのる

北星中学校 1年 馬場 結月

秋晴れにつなぐバトンと団の声

笠間中学校 1年 鶴来 凜華

落葉はき赤く染まった母の鼻

松任中学校 2年 木村 陽子

春風にバトンと絆繋いでく

美川中学校 2年 中尾 愛香

三角形証明できて紅葉散る

美川中学校 3年 世戸 宏樹

シャープペンの芯使い切り冬が来た

鳥越中学校 3年 荒谷 すみれ

実施日 令和2年11月2日(月)

参加者 市内小学生 6,195名

市内中学生 3,360名

主催 白山市教育委員会

協力 白山市俳句協会